



西川地区、東川地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日
香南市農林水産課

西川地区、東川地区の人と農地の課題と背景

2

■ 課題

西川地区、東川地区は、高齢化が進行しつつあり、農地管理が困難になりつつある。しかも後継者の不足の状況もあり、地区の耕作放棄地が増加していることが課題です。

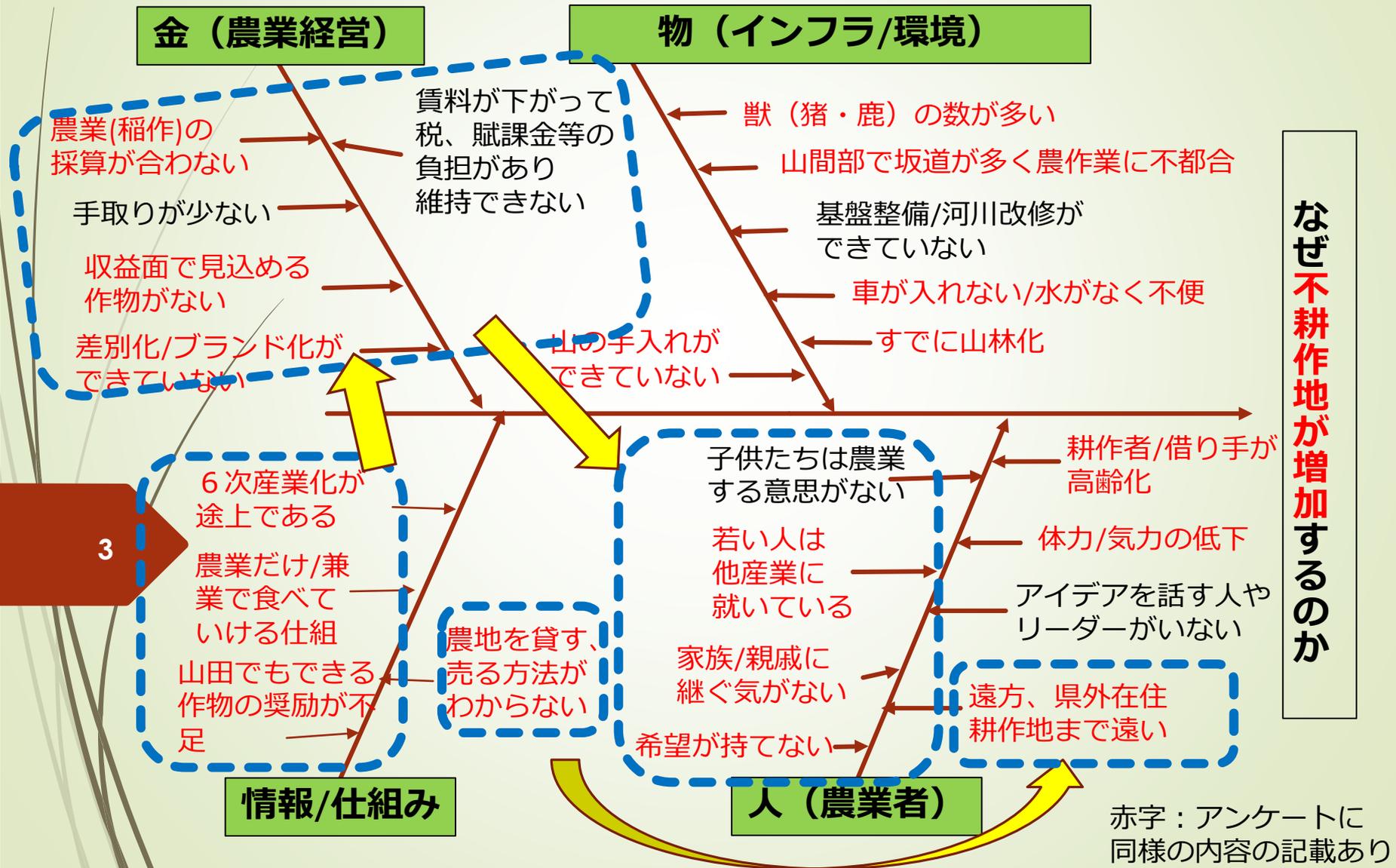
■ 課題とした理由/背景

・西川地区 営農アンケートより：
子供はいても農業後継者ではない状況も含め、**後継者不在割合が61%**ある。耕作者のみならず、受け手も高齢化が進んでいる。こうした状況下で、**農業者の32%は高齢化等による離農や経営縮小**を考えている状況にある。

・東川地区 営農アンケートより：
子供はいても農業後継者ではない状況も含め、**後継者不在割合が76%**ある。耕作者のみならず、受け手も高齢化が進んでいる。こうした状況下で、**農業者の22%は高齢化等による離農や経営縮小**を考えている状況にある。

地区の課題の要因

- 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解
- 要因の元（大矢印の出発点）に対応策を検討



課題対応方針/施策

4

■方針（基本的な考え方）

・西川地区、東川地区は、後継者の不足が課題であり、その要因の改善のため農業経営向上、情報取得（特に農地流動化および新規就農）の強化を通じて、地区の農地の維持につなげる。

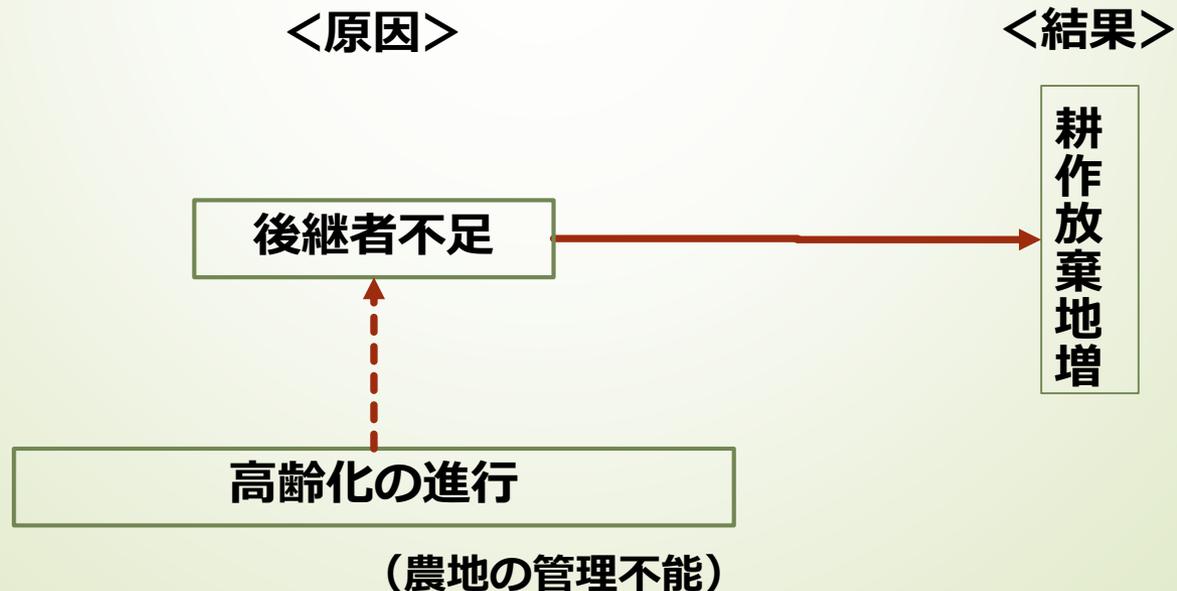
■施策（取組み）

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
農業経営向上を通じて農地の維持	・事例を通じた収益改善のノウハウの理解促進	・ 農業経営の向上（特に山間地における） にむけた研修会開催依頼/受講	◎		農業振興C JA、他 ◎	R3. 通年
		・ツーリズム（サービス）+農業の検討	◎	○	AirBnB他 ◎	R3. 上期
	・HP等を通じた情報を受ける仕組みづくり（市のHP経由で農業経営/農地情報が得られる仕組み）	・ 新規就農支援情報 の公開	◎	農林水産課 ◎		R3. 上期
		・農地の集約/賃貸の方法の 情報取得	○	農業委員会 農林水産課 ◎	農業公社 ○	R3. 上期

<参考資料>

- ▶ 以下は、プラン原案策定の際に使用した参照用資料です。

- 昨年実施した営農アンケートより下記が西川・東川地区の課題であることが読み取れる。（アンケートの集計結果参照）
 - 高齢化が深刻化している状況で、しかも後継者も不足している。
 - 耕作放棄地が増加している状況がある。
- これらを原因/結果の形に表現すると次のイメージとなる。

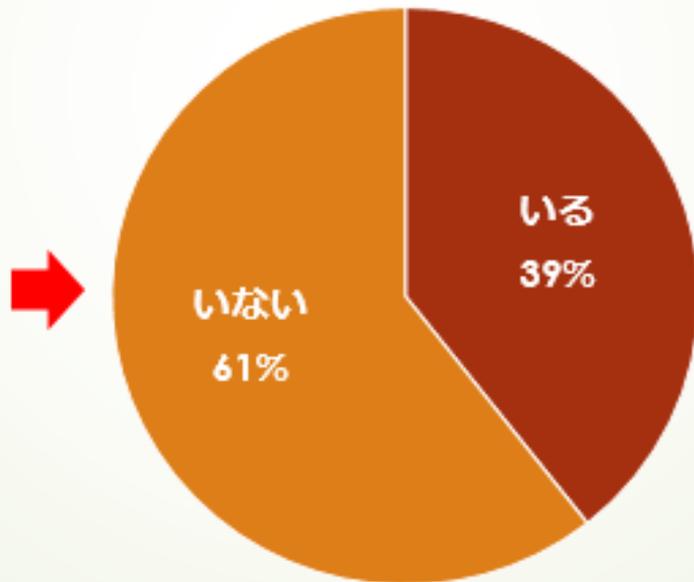


農業後継者の有無

西川地区

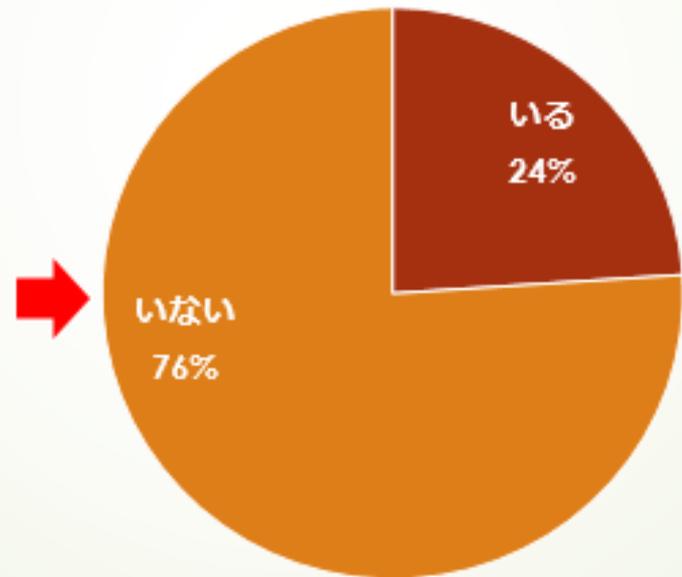
東川地区

農業後継者



設問への回答者数 : 127

農業後継者

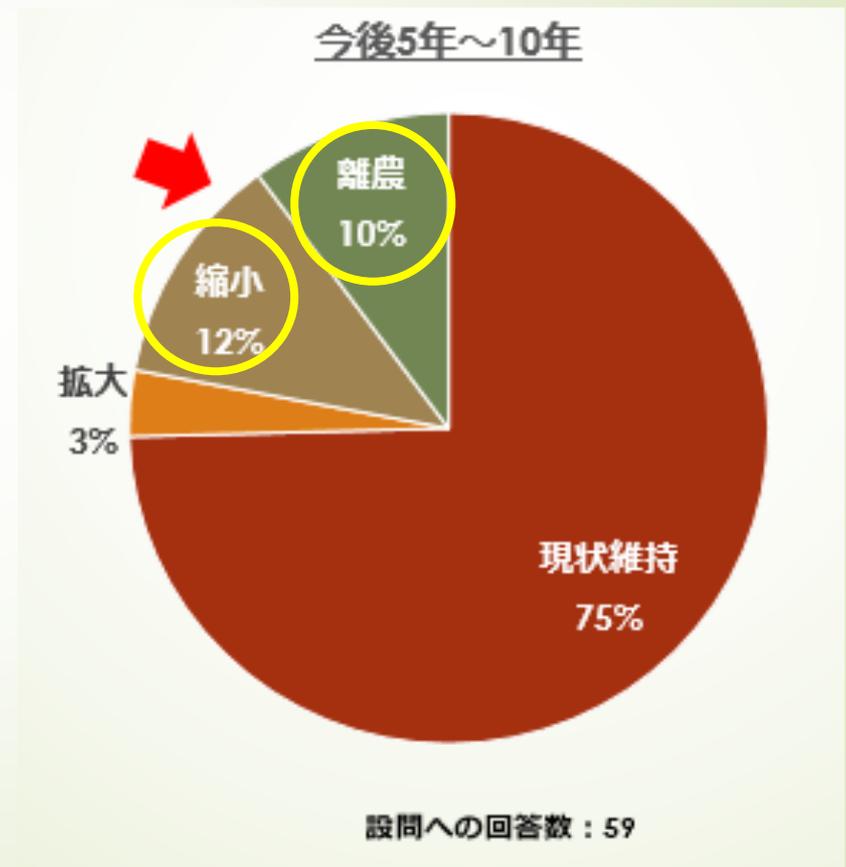
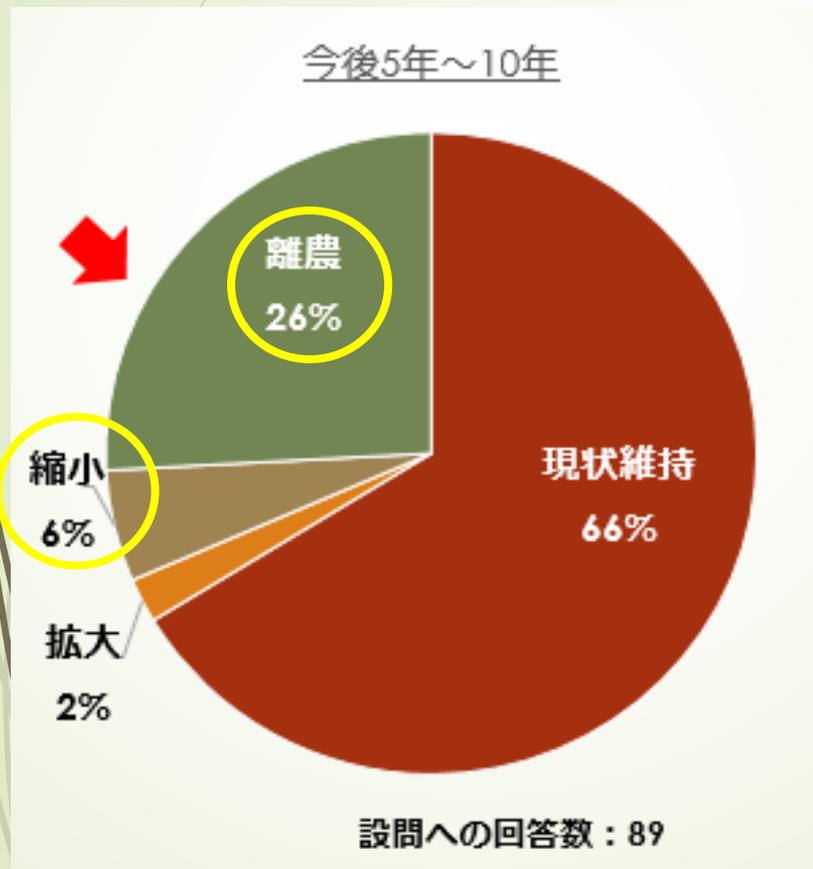


設問への回答者数 : 96

今後の営農の意向

西川地区

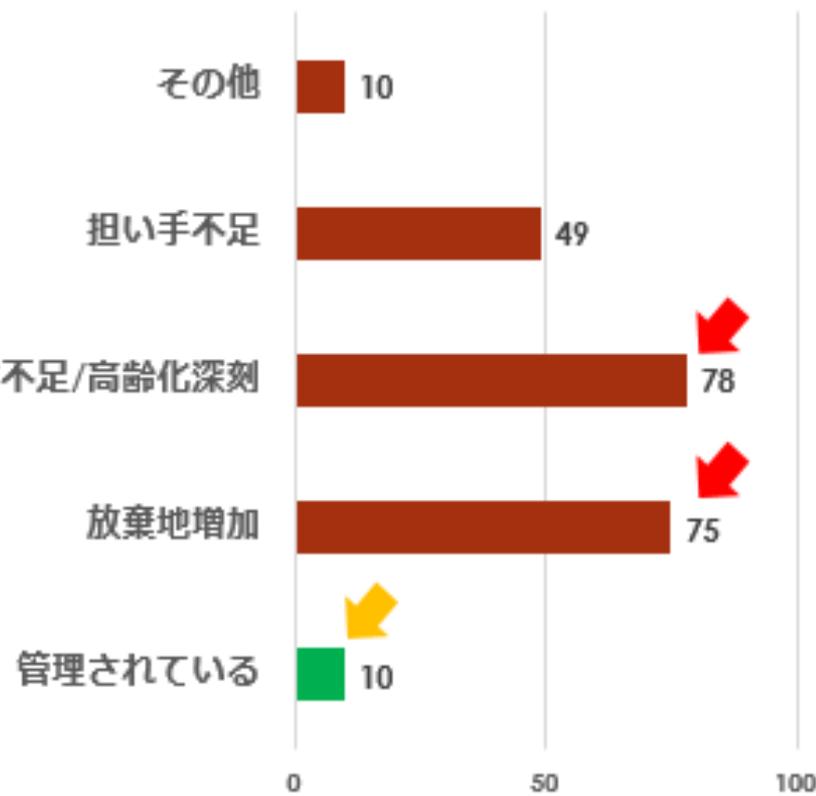
東川地区



地域の農業への認識

西川地区

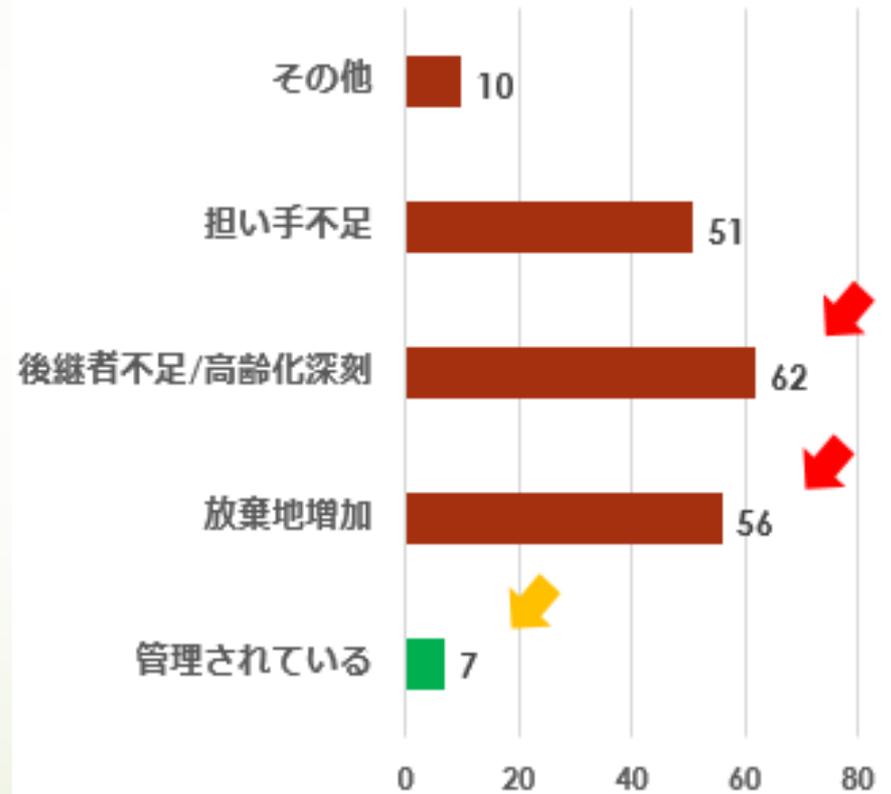
地域の農業者/農地の状況



設問への回答数 : 222

東川地区

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数 : 186

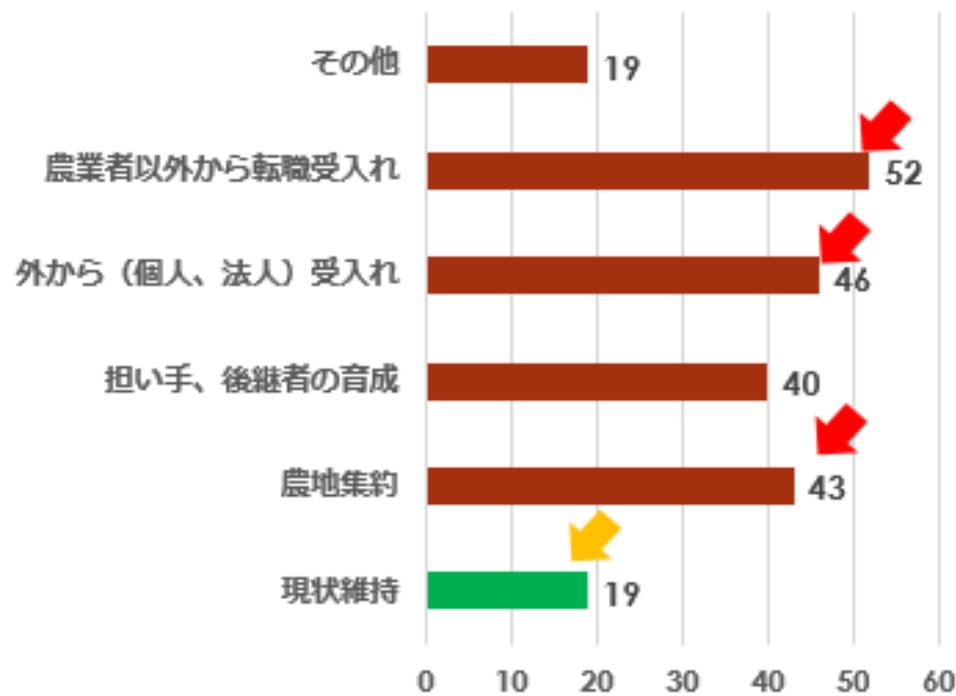
地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために

西川地区

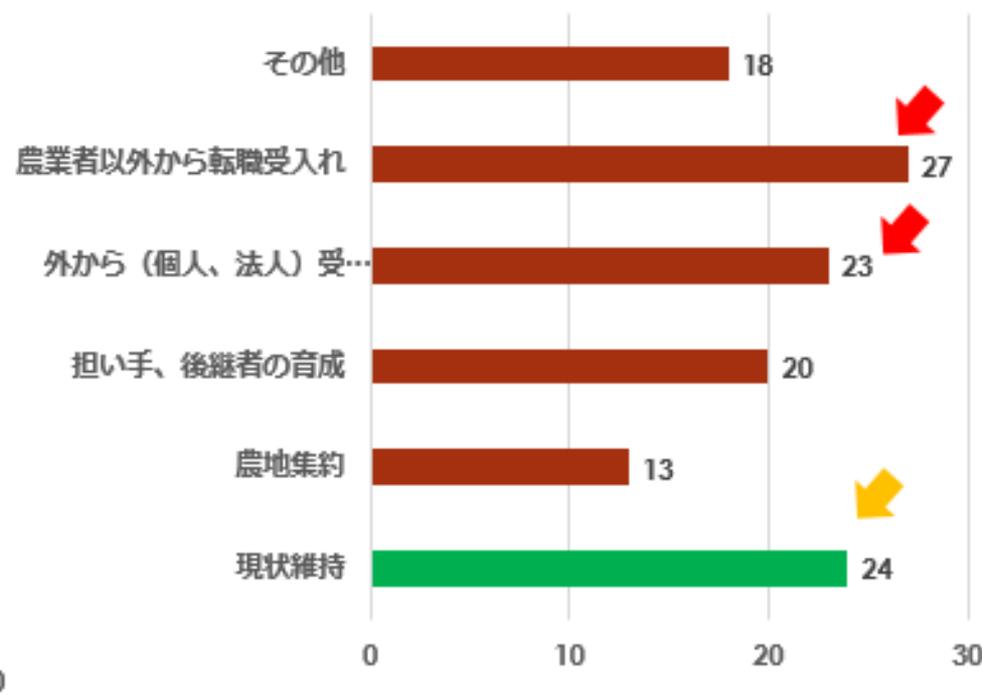
東川地区

持続可能な農業

持続可能な農業



設問への回答数：219

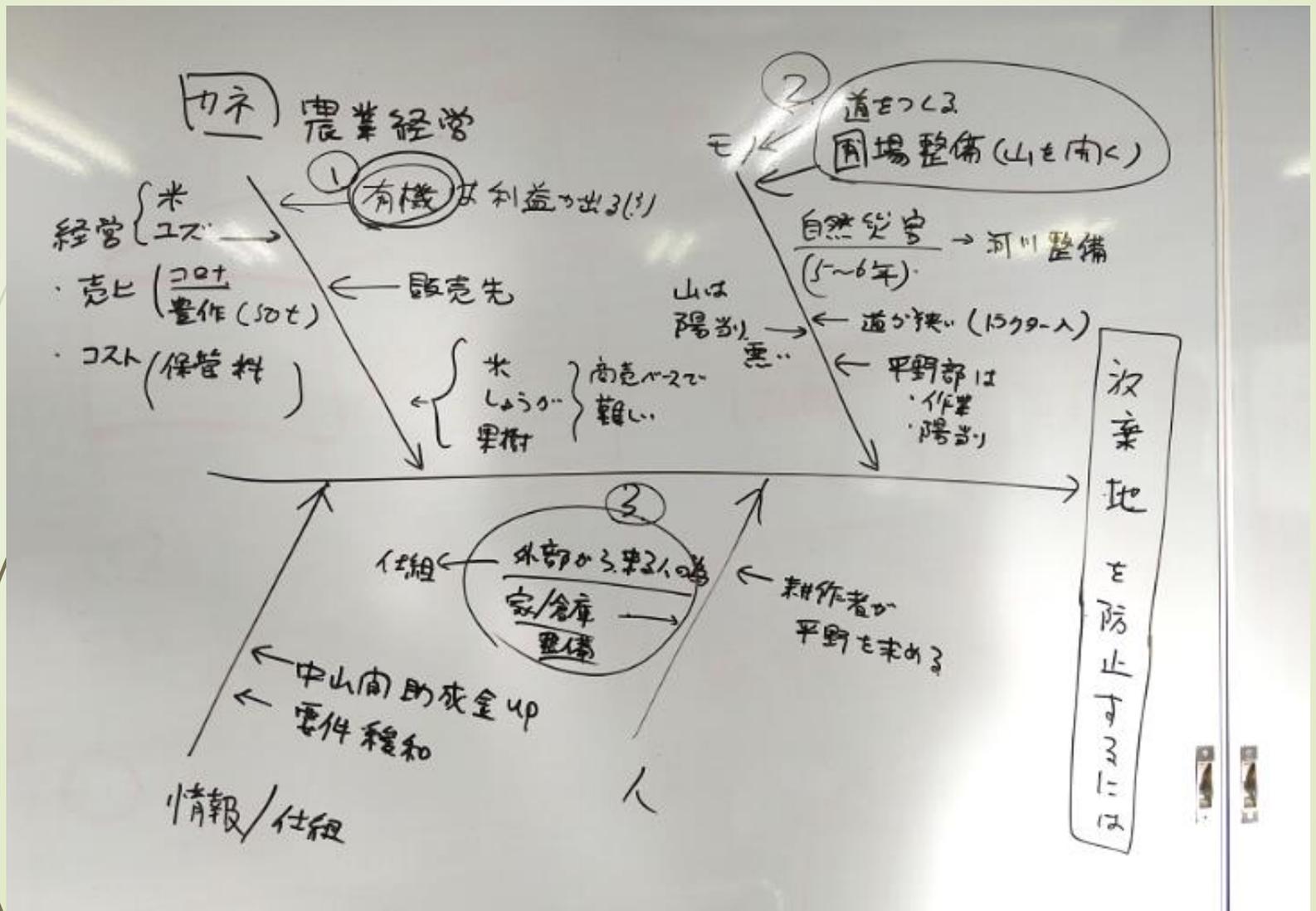


設問への回答数：125

農業委員/推進委員の方々との話し合い (2/15)

11

■ 地区の耕作放棄地の発生を防ぐための項目/施策内容の検討



地区の課題の要因

■ 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解

